

ちよだ 区議会 だより



No. 241

平成31年4月24日

編集：区議会だより編集委員会

発行：千代田区議会

〒102 - 8688 千代田区九段南 1-2-1

☎ 03-5211-4297（直通）

ファクシミリ 03-3288-5920

第1回 定例区議会



和泉公園のさくら（神田和泉町1）

トップニュース

Top News

附帯決議を付して、平成31年度千代田区一般会計予算を可決！

■総額は604億8,193万4,000円で、前年度当初予算に比べ、2.4%、14億8,265万7,000円の減額となりました。（P8）

■収蔵庫付設の博物館法に基づく施設整備のため財源を確保し整備していくこと等を求め、全会一致で附帯決議が可決されました。（P10）なお、附帯決議に関わる文化財保護に関する区長提出議案2件が撤回されました。

東京 2020 パラリンピック競技大会に向けた意見書を可決

■東京2020オリンピック大会後は全国民でパラリンピックを応援できる体制を整えるとともに、大会会場で多くの子どもたちが観戦できる政策をとることを強く求める意見書を、全会一致で可決しました。（P9）

主な内容

- 代表質問 2～3 面
- 一般質問 4～5 面
- 定例区議会活動報告等 6～8 面
- 本会議で可決した意見書等 9～11 面
- 議案の審議結果等 12 面

提案された議案等

- | | |
|----------------|-----------------|
| ◆区長提出議案 | ◆委員会提出議案 |
| ・条例 11 件 | ・意見書 1 件 |
| （内 2 件撤回） | ・附帯決議 1 件 |
| ・予算 5 件 | ◆議員提出議案 |
| ・契約 6 件 | ・意見書 1 件 |
| ・人事 2 件 | |



●ホームページアドレス

<http://gikai-chiyoda-tokyo.jp>



●メールアドレス

kugikai@city.chiyoda.lg.jp

●公式 Twitter

@Chiyoda_Kugikai

*区議会だよりは、新聞折込で配布しています。購読していない区内在住・区内事業者の方には郵送いたします。また、音声（CD）版、点字版も作成しています。区内在住でご希望の方は、区議会事務局 ☎5211-4297（直通）までご連絡ください。

区議会だよりは区議会ホームページでもご覧になれます。また、区議会の最新情報をお届けする「区議会公式Twitter」も発信していますのでぜひご利用ください。

平成31年第1回定例区議会

代表質問 (要旨)

議員紹介は
こちらから

※全文は、区議会ホームページでご覧になれます。また、2次元コードから録画映像にアクセスできます。

自由民主党議員団



戸張 孝次郎

31年度予算編成と今後の財政運営

問 区の保有する1,000億円以上の基金を有効活用することが重要。健全な財政運営のための今後の取り組みは。

答 平成36年度までの5年間に約447億円の基金を区有施設等に充当予定。効果的な事務事業の選択を行い、基金を有効活用し、強固な財政基盤の確立と安定的な財政運営に努めていく。

神田のまちづくりについて

問 神田の歴史や祭礼等の文化を踏まえ、成熟時代を見据えた神田のまちづくりに対する区の見解は。

答 神田には、町会・商店街等の賑わい創出に取り組む人が多く、こうした地域の主体的なまちづくりの担い手と行政が知恵を出し合い、神田のまちの魅力の創造に向けたまちづくりの取り組みを精力的に進めていく。



喫煙所の設置について

問 条例で路上・公園の禁煙化が進んだ結果、路地裏等での喫煙者が増えた。そのため、喫煙所の整備が必要であり、来年度のたばこ税の歳入見込み、約35億円を喫煙者に対する施策に充て、もう一段階上の取り組みを検討すべき。

答 区は、喫煙所の整備をはじめ、生活環境改善関連事業の充実に注力してきた。今後もさらなる施策展開に努め、適時適切に取り組んでいく。

自由民主党 新しい千代田

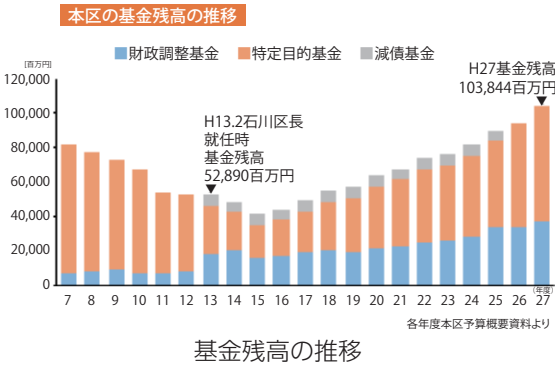


たかざわ 秀行

平成31年度予算案について

問 最終補正予算に30億円余の剰余金が基金に組み込まれ、増大し続けている。現在と将来の納税者との負担均衡を図る財政運営を行うべき。

答 社会状況が変化しても質の高い安定的なサービスを提供するため、強い財政基盤の確立が必要。将来の需要も見据え、複数年度の視点も盛り込んだ。



観光施策について

問 観光客増大による交通渋滞、ごみ問題等の対策並びに東京2020オリンピック・パラリンピック開催時に国や都、JOC等から区民生活に影響のある交通規制等の協力要請があった場合の対応は。

答 関係機関と連携の上、安全安心な生活環境を確保し、協力要請には区民生活への影響を考慮するとともに、関係者と調整して対応していく。

保育所整備について

問 ①待機児童数は実態に合った数値で公表を②保育所整備の際には近隣へ早期に周知すべき③旧高齢者センター跡地を保育所開設場所に決めた根拠は。

答 ①厚労省の基準のほか、特定園留保や転所留保人数等も情報提供を実施②業者選定前の段階での近隣への周知は困難であるため、事業者とともに不安解消に努める③区有地活用、公園との隣接、最寄駅が鉄道の要衝のため決定。

日本共産党区議団



木村 正明

消費税増税の中止を国に求めよ

問 消費税増税は法人税減税の穴埋めとなり、社会保障の財源確保はより困難に。また、消費不況も深刻化させる。区長は国に中止要求を。

答 安定的財源であり、全階層が公平に負担し、現在と将来の世帯が公平に社会保障の財源を負担することから、改正はやむを得ない。

これが税金の適正な使い方か

問 区営四番町アパートの改修工事は、図書館改修も含めると2億円。だが、その改修直後に壊して建て替えることが、最少経費で最大効果の方法か。

答 建物は築30年を経過し、バリアフリー等の機能が元々乏しい。経費だけでなく住民福祉向上等の長期的視野に立ち、建て替えが望ましいと判断した。

四番町アパートの修繕工事等一覧	
2012年	「公営住宅等長寿命化計画」の策定
2013年	屋上防水改修工事(850万円)
2014年	排水設備改修工事等(1億3千万円) (便器・下駄箱・床張り替え・洗面台・台所の蛇口・LED等)
2015年	給水設備改修工事(3千万円)
同年12月	建替え説明会

違法状態の工事となった原因は

問 条例上、区議会の議決が必要な契約であるのに、区は議決を経ず、麹町仮住宅敷地内での地下鉄永田町駅の新たな出入口の受け口工事を発注し、違法状態を招いた。費用・期間が不明確な時点での発注は、区長の強引な指示が原因ではないか。

答 地域の総意として工事要望を受け、区では先行して整備する必要があると判断し、発注を行った。

平成31年第1回定例区議会

代表質問 (要旨)

議員紹介は
こちらから

※全文は、区議会ホームページでご覧になれます。また、2次元コードから録画映像にアクセスできます。

千代田を紡ぐ会・立憲



寺沢 文子

石川区長の政治信条について

問 若い職員へ区長自らの信条・理念等を示し、忌憚^{きたん}のない意見を聞き、若い感性を生かした区の将来像を見せてほしい。

答 新規採用時等に意見を聞き、採用5年目程度の職員には計画策定に参画してもらっている。また、区長が直接発表を聞く、政策等の提案を受ける職員提案制度も実施し、若手職員の持つ感性を区政に取り入れている。

児童相談所設置の進捗状況は

問 ①区が考える施設規模は②子どもの安全安心を図る観点から、児童福祉司をはじめ、弁護士も必須では。

答 ①一時保護した児童の寝泊まりや運動する場所が必要。そのため、相応の広さの敷地や建物規模となる②現在も、子どもをめぐる問題に弁護士から指導助言を受けている。今後も活用を図る。

千代田区男女共同参画について

問 雇用者全体の女性管理職の割合は、国際的に低い。男性の育児休業取得を増やし、男性も育児等を担うことにより、管理職に挑戦する女性が増えると考え。男性の育休取得率向上のためには何が必要か。

答 男性自身や職場の意識改革が必要。制度周知や支援冊子の発行、所属長からの積極的な声掛けに努める。



公明党議員団



大串 ひろやす

全ての幼稚園で給食を実施し食育を

問 欠食や孤食等、食の乱れは、乳幼児や子どもの健全な発育を阻害し、学習意欲の低下を招いている。食育が必要とされる理由である。食育とは「楽しい食事」であり、五感で感じて食べることである。そのことが乳幼児や子どもの本来持っている「生きる力」を引き出し、伸ばすことにつながる。食育を栄養士、先生や保育士が給食を通して行っている。そこで、現在弁当持参となっている幼稚園でも給食を実施し食育を行うことを提案する。所見は。

答 幼稚園で給食を提供するに当たってはハード・ソフト両面に課題があり、直ちに実施はできない。しかし、給食実施は前向きに議論を進めていく。



豆のさやむきで食育

国民健康保険料の引き下げを！

問 国民健康保険料率は、今年度より23区統一から各区独自に定められるようになった。区は来年度も今年度同様、国保会計への法定外繰入を継続して区独自の保険料率を定め、2期連続約9割の方の保険料を引き下げることとした。大いに評価できる。そこで、区の保険者としての今後の決意を問う。

答 保険者として区民生活の安心を支える役割を果たす観点から、保険料変動による区民生活への影響を極小化していくという方針を堅持していく。



平成31年第1回定例区議会

一般質問 (要旨)



※全文は、区議会ホームページでご覧になれます。また、2次元コードから録画映像にアクセスできます。

米田 かずや (公明)



病児・病後児保育室について

問 ①保育室の需要増に対する区の見解は②民間の小児科病院と連携し開設することを検討すべき。

答 ①利用実績は増加。保育室、人員の確保やニーズへの対応が課題②病院に打診中。実現に向け努力する。

太陽光パネル問題について

問 パネルによる火災等が多く発生している①区は設置箇所を把握しているか②区の助成制度活用により設置した場合、定期的な点検の義務化を提案する。

答 ①区の助成を利用し設置した件数は把握。点検実施の協力を要請する②必要な方策を検討する。

内田 直之 (自民)



指定校変更の基準見直し

問 現行基準では、児童はマンション建て替えに伴い望まない転校を余儀なくされる。そこで、仮転居として承認する期間を「約1年以内」から「約3年以内」に変更することを提案する。

答 仮転居期間が約3年以内の場合、現住所の小学校への通学を認めるよう基準の見直しを検討する。

マンション管理適正化条例

問 ①制定に向けたスケジュールは②既存の助成制度の再整理等が必要。見解は。

答 ①2020年4月1日の施行を目指す②実効性を高くするため、実態調査の結果を参考に必要な見直しを検討。

永田 壮一 (自民)



危機管理について

問 皇位継承に伴う国事行為、東京2020五輪大会という注目度の高い行事はテロの標的になりやすい。自然災害だけでなく、平時におけるテロを想定した各機関の連携、人材育成、訓練について区の対応を問う。

答 警察、消防、自衛隊等との連携を強化し、テロを想定した実践的な訓練を実施。専門研修に参加させて防災士等の専門家を育成している。消防庁からの職員派遣やOB採用も行っている。



小枝 すみ子 (声)



リノベーション型まちづくり

問 改定中の都市計画マスタープランに、リノベーション型まちづくりの推進を位置づけることは可能か。

答 今後、策定までの過程の中で整理され、位置づけられるものと認識。

文化財保護の考え方

問 四番町歴史民俗資料館が廃止され、文化財保管が日比谷図書館へ。温湿度管理の課題への認識は。

答 温湿度管理庫6台を配備し、保管環境を整備。



大坂 隆洋 (自民)



ロスジェネレーション対策

問 就職氷河期に就職活動をした世代が40歳前後となっており、様々な課題が表面化してきている。区の認識は。

答 将来的に深刻な社会問題となると認識。国や都への協力の働きかけを行う。

商工振興支援施策について

問 ①生産性向上特別措置法は、区が認定した中小企業の設備投資に対し様々な優遇がある。認定の状況は②商工融資あっせん事業のさらなる利便性向上は。

答 ①当初の15件という目標を上回る42件を認定②都の制度との連携を行うことで利便性を高める。

桜井 ただし (自民)



障害者福祉施策について

問 ①障害のある方に限らず相談できる窓口「モフカ」の相談内容と施策の反映は②旧千代田保健所跡地に整備される福祉的施設の考え方、スケジュールは。

答 ①相談内容は不安解消、障害や病気への理解等が多い。今後は地域共生社会の実現を目指し、関係者のネットワーク構築を推進する②高齢者と障害者の複合施設として整備予定。31年度に基本計画を策定。



池田 ともり (自民)



次世代育成の支援を求めて

問 区独自の支援として片耳難聴や歯科等の矯正治療への助成制度を拡充すべき。

答 保険適用外の治療への助成拡充を今後の検討課題とする。

特色ある食育の推進

問 江戸エコかるたは食品ロス削減を表現し、食育に繋ぐことが可能。江戸の知恵と区の特色を活かした視点を食育として活用すべき。

答 家庭等でも取り組めるよう、実現の可能性を検討。



平成31年第1回定例区議会

一般質問 (要旨)



議員紹介は
こちらから

※全文は、区議会ホームページでご覧になれます。また、2次元コードから録画映像にアクセスできます。

飯島 和子 (共産)



国民健康保険料の軽減

問 被用者保険の2倍以上の国保料を軽減するために、子どもの均等割軽減の区独自策を求める。

答 制度上、応分の負担が必要と考える。ただし、次世代育成手当や子どもの医療費無料化等で総合的に支援。

75歳以上の医療費助成

問 早期治療や介護の重度化防止になり、結果的に医療費抑制も期待できる。75歳以上の医療費窓口負担の軽減を求める。

答 世代間の公平を図るべきであり、軽減は現役世代の負担増になる懸念がある。
※その他、児童相談所開設についても質問しました。

岩佐 りょう子 (紡憲)



障害者の「超」短時間勤務

問 障害の態様により働き方を選ぶよう、週20時間未満の「超」短時間勤務の仕組みづくりを。

答 障害者の適性やニーズに合った支援を提供するため、雇用促進事業を研究する。

区政への子どもの参画

問 子どもの区政への参画の機会として、身近な遊び場や学校等の整備時に意見表明する場を提供すべき。

答 学校整備等で実施。今後も意見を聞きながら行う。



牛尾 耕二郎 (共産)



認可保育園待機児の解消を

問 ①6園を設置する予定だが、待機児解消の見通しは②保育需要が高い0～2歳児への対策は急務である。

答 ①人口動向で今後の需要数を推計し、それを満たす施設整備計画を策定する
②小規模保育、家庭的保育等で対応中。今後も園の開設・運営経費補助率上乗せや私立園誘致で対応する。

区立園の正規保育士増員を

問 任用制度変更により、現在の非常勤保育士と同等の人数が確保できない恐れを考慮し、正規保育士増を。

答 人口増に伴う業務量を見込んでいるため職員定数増を含め適正配置に努める。

岩田 かずひと (立憲)



日テレ超高層ビルについて

問 ①多くの住民の反対を無視して容積率・高さ制限緩和するのか②各種課題を専門家に検討させ、その結果を協議会で検討すべき③開発計画の周知も不徹底。

答 ①②無視する考えはない。多様な意見があるが、事業者判断となる部分もある
③ホームページ掲載や協議会の傍聴範囲拡大等を行い、改善を図った。

避難所運営における問題点

問 防寒対策に、災害時も平常時も活用できるウレタンマットを導入すべき。

答 同目的のマットや段ボールベット等を整備済み。空調設備も整備予定。

林 則行 (千代田)



人生100年時代の制度設計

問 出張所に高齢者向け相談の総合窓口の分散設置を。

答 社会福祉法人が運営する3つの拠点を中心に対応する。また、区や社会福祉協議会と相互に連携し、地域で安心して暮らせるよう高齢者支援を行っている。

2020年も岩井臨海学校に

問 東京2020大会の期間中、バス需要等の関係で、子どもの校外学習の機会を奪うことがないよう対応すべき。

答 7月に岩井臨海学校を実施できるよう検討する。



はやお 恭一 (千代田)



文化財保護に教育的視点を

問 伝統を守り教育に生かす見識をもつ教育委員会が役割を果たすべきでは。

答 補助執行は意思形成過程、責任の所在等がわかりにくい。今後は教育委員会への情報提供を求め、区長部局との連携を強めていく。

文化事業の戦略とビジョン

問 広域避難場所を貸してまで区が取り組むアーツスクエア構想(アーツ3331等)の位置づけとビジョンは。

答 「誰もが気軽に楽しめる環境づくり」というコンセプトのもと取り組む。東京2020大会を文化芸術振興の契機として国内外に向け情報発信、文化交流を促す。



平成31年第1回定例区議会

定例区議会活動報告

常任委員会



常任委員会では、区長提出議案17件（条例11件、契約6件）を審査しました。
議案の審査経過をご紹介します。なお、審議結果は12ページをご覧ください。

企画総務委員会

議案12件のうち、主な議案の審査経過は以下のとおりです。
「千代田区景観法に基づく景観計画の策定及び届出行為等に関する条例」は、本年4月に区が景観行政団体に移行する予定であることに伴い、景観行政団体として景観計画を策定するまでの間において必要な手続等を定める必要があるため、新たに条例を制定するものです。

〈審査経過〉

質疑の中で、区民生活に密着している基礎的自治体である区が景観行政を担うことによるメリット、商業エリアにおける経済活動を規制することとなる等のデメリットを踏まえ、地域特性を踏まえた取り組みをするとともに、区民に周知をしていきたいと区が考えていること等が明らかとなりました。

「(仮称)麴町仮住宅新築工事請負契約の一部変更について」ほか2件は、平成29年第4回区議会定例会において議決された(仮称)麴町仮住宅に係る工事請負契約について、地下鉄連絡通路出入口設置に伴う工事内容の変更及び工期延長による諸経費の増により契約変更するものです。

〈審査経過〉

質疑の中で、永田町駅との地下連絡通路の設置については、鉄道事業者と工法、費用負担について協議中であり、早期合意に向けて鋭意協議していきたいと区が考えていること等が明らかとなりました。

〈討論〉

【反対の意見】

この議案は監査委員から指摘された違法状態から脱することのみを最大目的としたものであり、住民合意も鉄道事業者との協議も極めて不十分であったことが議案審査を通して明らかになったため、反対する。(木村)

民意の把握がなく、議決を経ないで工事に着手した違法状態になっている。連絡通路完成までの期間、費用がわからないという工事のあり方について、違法性を解除するためだけに追認するわけにはいかないと、反対する。(小枝)

【賛成の意見】

特別委員会でも長時間議論され、区の契約変更のあり方、協議会の課題等はあるが、今般の地元協議会における全会一致の要望として重く受け止め、区が課題を早急に整理し、議会に報告して共通認識とすることを求め、賛成する。(永田)

地域保健福祉委員会

議案3件のうち、主な議案の審査経過は以下のとおりです。
「千代田区障害者福祉手当条例の一部を改正する条例」は、精神障害者に対する支援を拡充するため、障害者福祉手当の対象者として、一定の要件を満たす精神障害者を追加するほか、規定を整備するものです。障害者福祉手当の対象者の追加については本年4月1日から、一部規定整備については公布の日から施行します。

〈審査経過〉

精神障害者における障害の程度については、変動がありえるが、心身障害者医療費助成制度の改正においても精神障害者保健福祉手帳1級の方を対象とすることに鑑み、本改正の対象としたこと、心身障害者医療費助成制度の対象の方と同様に、電話や郵送等、様々な措置を取り、手続きが行えるように対応すること等が明らかになりました。

「千代田区国民健康保険条例の一部を改正する条例」は、国民健康保険事業の安定的運営のため保険料率及び賦課割合を改定するとともに、均等割減額措置対象者を拡大するほか、規定を整備するものです。保険料率及び賦課割合の改定並びに均等割減額措置対象者の拡大については本年4月1日から、規定整備については公布の日から施行します。

〈審査経過〉

区民生活への影響を最小限に食い止めることを基本的な考え方に据えながら、今後も保険料率や一般財源の繰り入れ額の削減について、慎重に検討し、判断していくこと、保険料の算定にあたり工夫をすると同時に、医療費の適正化を図る努力を引き続き行っていくこと等が明らかになりました。

〈討論〉

【賛成の意見】

他の被用者保険に比べ保険料に格差があることは、構造的なものであることが明らかになり、改善が必要なことは世論になっている。国の改善を待っているのではなく、自治体独自軽減の努力を今後に求めつつ、今回の改正については、一定の負担軽減が行われているため、賛成する。(飯島)

区民の方の生活を守るために、その影響を最小限にするという決意を聞いた。これからもそのような姿勢で、国保の運営、保険者としての運営に臨んでもらいたいことを申し述べて、賛成する。(大串)



平成31年第1回定例区議会

定例区議会活動報告

常任委員会



子育て文教委員会

区からの報告10件のうち主な内容は以下のとおりです。

「『くだんしたこどもひろば』の開設について」は、ボール遊びエリアは高さ10mの防球ネットで囲み、天井にネットは張らないが、ボールが外に飛び出さないよう対応策を講じること、有識者等の意見も踏まえ、今後の課題として開場時間の延長など柔軟な運用を検討していくこと、良質な人工芝を設置すること、利用者は主に小学生以下の子どもを対象としているが、中学生も利用できること、夏季に日陰となるパーゴラ（日陰棚）がより有効に機能するよう工夫していくこと、子ども達が安心・安全に遊べるよう、常駐する管理人と密接に連携していくこと等が明らかになりました。

「平成31年ゴールデンウィーク中の特別保育について」は、グローバルキッズ飯田橋こども園で4月30日と5月2日の2日間、定員20名の特別保育を行うとの報告があり、区立保育園及び学童クラブにおいても同様の保育の実施を検討中であることなどが明らかになりました。

「平成31年4月保育園等入園審査状況（一次・二次審査終了時点）について」は、一次審査終了時点で認可保育所の希望者686人に対して459人を内定し、二次審査では53人を追加で内定したとの報告があり、定員を弾力化し、1歳児では20名多く受け入れるようにしているが、これ以上の弾力化は難しいこと、就学前人口は年間200名位増えており、概ね6割の方が保育園の利用を希望する傾向にあるため、年間120名程度定員を増やすよう計画していること、大規模開発等においては、保育園・学童クラブを設置するよう、区から事業者に対して働きかけを行っていること等が明らかになりました。

「お茶の水小学校・幼稚園の施設整備について」は、現在、実施設計業務を行っており、「東京都中高層建築物の建築に係る紛争の予防と調整に関する条例」による近隣住民説明会を5月に開催する予定であることなどが明らかになりました。

その他「平成30年度インフルエンザによる学級閉鎖の状況について」、「平成30年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について」、「次期次世代育成支援計画策定に向けたニーズ調査の結果について」、「和泉小学校・いずみこども園等の施設整備について」、「子ども版千代田区共育ビジョンについて」の報告がありました。



特別委員会



オリンピック・パラリンピック対策特別委員会

昨年実施したパラスポーツ専用体育館「パラアリーナ」の現地調査報告として、パラスポーツへの対応や障害者に配慮した施設の増、パラリンピックの気運醸成に力を入れていくことで一致し、意見書をまとめました。

報告事項では、平成31年度の重点事業「Let's2020事業」として、区内の団体、企業、私立学校の企画への補助を拡充する等の説明があり、委員から補助の柔軟な対応を求める意見がありました。

議会のあり方に関する調査特別委員会

前回の委員会での調査要求による地方議会における議会基本条例の制定状況やその概要、委員会での質問の持ち時間制の導入状況等の議会運営について報告がありました。その中で、今後、他の区議会で制定されている議会基本条例の施行後の議会活動や運営の変化等を見極めながら、当区議会でも慎重に検討する必要性等が議論されました。

福祉施設整備特別委員会

「箱根千代田荘の再開を求める陳情」の審査については、早期再開に向けあらゆる方策を検討していくよう、執行機関に申し入れることを確認し、審査を終了しました。また、区が福祉的な視点を取り入れた宿泊施設の調査を行っていることが明らかになりました。旧千代田保健所跡地に新たに整備する高齢者と障害者の複合施設については、千代田区障害者支援協議会（計画部会）での協議を踏まえた施設整備案や検討課題が示されました。

都市基盤整備特別委員会

（仮称）区立麴町仮住宅の整備については、永田町駅への地下連絡通路を設置することとなった経緯・経過についてあらためて調査しました。また、関連する「区営四番町アパートの建替えに関する陳情」については、入居者に寄り添って対応することを区に求め、審査を終了しました。

さらに、（仮称）外神田公共施設新築工事の状況等について区から報告がありました。



平成31年度 予算審査から

平成31年度当初予算4議案及び平成30年度補正予算1議案は、全議員で構成する予算特別委員会を設置し、審査しました。委員会では、まず補正予算として（仮称）麴町仮住宅の整備及び国史跡常磐橋の修復等に関する債務負担行為の追加等を審査し、賛成多数で可決しました。当初予算は、概要説明を受けたのち、企画総務、地域保健福祉、子育て文教の3つの分科会を設置し、それぞれ所管部分の詳細な調査を行いました。分科会の調査報告を受け、総括質疑、意見発表を終え採決を行ったところ、当初予算4議案はいずれも賛成多数で可決することと決定しました。採決が終了した後、委員から動議により、新年度予算の執行にあたり、文化財保護に関することに十分取り組むことを求める『議案第2号 平成31年度千代田区一般会計予算』に対する附帯決議」案が提出され、採決を行い、賛成全員で可決することと決定しました。

予算特別委員会における討論 【反対の意見】

区民不在で企画立案が強行された「四番町公共施設整備」と「（仮称）麴町仮住宅整備」は双方で100億円もかけるべきかを指摘し続け、1人の住民の監査請求では手順手続きの違法性が明らかになった。また、文化財保護のあり方でも区民の貴重な文化財の不適切な保管が明らかになり、本予算案は区民の利益を損ね、区の価値をも毀損する恐れがある問題もはらんでいることから反対する。（小枝）

本予算案は国保料の引き下げやがん検診無料化など区民施策の前進が見受けられた。しかし、第1に麴町仮住宅敷地内の地下鉄連絡工事の違法な手続き等、区政を私物化していること。第2に規制緩和型のまちづくりで長期居住者の減少による地域コミュニティの衰退。第3に文化財の保存・管理の不適切さが明らかになったこと。以上により、国保会計と介護保険会計を除く本予算に反対する。（木村）

予算特別委員会では文化財保護に関することについて、多くの時間が費やされた。その中で、文化財に対する区の姿勢は望んでいるものとは程遠いものだった。また、（仮称）麴町仮住宅整備の地下鉄出入口工事の契約違法状態問題、日テレ通り近辺の地区計画問題等、区民の納得いかないことばかりであり、本予算案に反対する。（岩田）

【賛成の意見】

今年は東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の準備の最後の1年となり、気運醸成事業や北の丸公園周辺地域整備など積極的予算で評価する。しかし、文化財関連の質疑では、台帳の未整備や保存の意識の希薄等、課題が明らかになった。文化財は活用できなければ意味がなく、それは適切な保存と整理の上に立つものであり、これらの指摘に対して、

早急な改善を求め、各会計予算案に賛成する。（大坂）

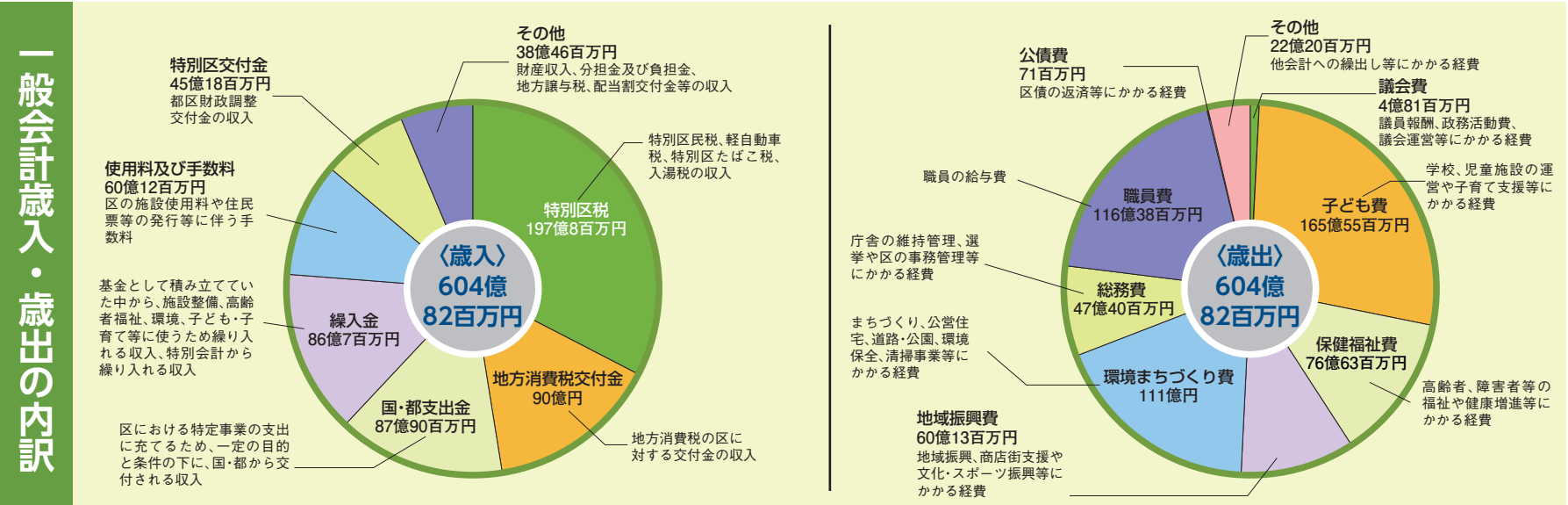
文化財保護行政に関する質疑に対し、反省の弁ばかりであったが、区長からは「今後体制・設備を整備する」との答弁があり、強く望むものである。なお、新年度事業では、「保育士奨学金返済支援助成」、「フレイル予防の推進」、「地区防災計画作成支援」、「子ども版共育ビジョンの普及・啓発」、「産後ケア事業の拡充」など評価し「区民と共に築く」という姿勢で行うことを強く望み、各会計予算に賛成する。（米田）

新年度予算は、消費税清算基準の見直し等、今後の厳しい財政見通しの中、職員定数を大幅に増やし、特に障がい児福祉が大きく拡充していることは評価できる。外神田一丁目計画では、清掃事務所や千代田万世会館の現状は共通認識に立つが、時期や手法も未定であり、区の早期の判断が必要である。区民に必須の施設整備はニーズと時期を明確にし、民間開発と一線を画して適時に行うことを求め、賛成する。（岩佐）

税財政制度改革の動きのある中、基金を1千億円以上積み上げ、強固な財政基盤を構築しているが、現在と将来の納税者との不均衡を生み出す財政運営と言える。しかし、31年度予算は、待機児童ゼロに向けての「私立認可保育所の整備」や「障害児タイムケアサービス事業」、「がん検診の無料化」等、区民に寄り添った予算となった。文化財保護事業については、改めて執行部体制の見直しを求め、賛成する。（たかざわ）

各会計予算の規模 (単位：百万円)

会 計 名	平成31年度	平成30年度	増（△）減額	増（△）減率
一 般 会 計	60,482	61,965	△1,483	△ 2.4%
国民健康保険事業会計	5,521	5,442	78	1.4%
介護保険特別会計	4,323	4,451	△ 128	△ 2.9%
後期高齢者医療特別会計	1,754	1,656	98	5.9%
全 会 計 合 計	72,080	73,513	△1,433	△ 1.9%





本会議における討論(要旨)

今定例区議会では次の2件の議案を採決するにあたり、本会議において討論がありました。その要旨をご紹介します。

1. 平成30年度千代田区一般会計補正予算第2号

可決

【反対の意見】

本議案最大の焦点は、違法状態にある麹町仮住宅整備に関する債務負担行為。まず法令を軽視し、議会議決なしに工事着工した。次に民意を軽視し、周辺住民の意向調査も不十分。区民の信頼を取り戻すために旧千代田保健所麹町庁舎跡地の活用検討を本格的に開始することを求め、反対する。(木村)

(仮称) 区立麹町仮住宅敷地内に作る東京メトロ永田町駅新出入口の工事については、現段階において工期や正確な工事費も不明。契約にあたる施工協定も取り交わしておらず、議決を経ていない。このような違法状態の工事を見逃すわけにはいかない。よって本案に反対する。(岩田)

本件には、監査委員から議会の議決を経ずに行った5億円超の契約の違法性が指摘された、麹町仮住宅の地下での東京メトロ受け口設置工事が含まれている。経費や期間が不明な当計画を見直すことが区民や次世代の子どもたちにとって最良の判断と考え、反対する。(小枝)

【賛成の意見】

麹町仮住宅整備における契約変更は10か月以上違法な状態で瑕疵は大きい^{かし}が、地下鉄バリアフリー化は住民の長年の要望であり、工事中止は住民の利益に反する。組織全体で再発防止を図り、適切な議会報告のあり方、不適切な時には職員間で指摘できる職場環境づくりを求め賛成する。(岩佐)

麹町仮住宅新築工事請負契約の契約変更に関する監査結果は、速やかに変更手続きを行う当然のことが出来ていないと指摘があった。これに対し、速やかに手続きが取れるよう区として指針を策定後、議会へ提示し議論していくと副区長より答弁があった。早急な指針の策定を求め、本案に賛成する。(米田)

麹町仮住宅の整備は適法な手続きが行われておらず、正常な工事に着手しなければ区民生活に支障をきたす。あいまいな答弁等、区の議会への姿勢にも疑問を抱くが、一刻も早く違法状態を解消すべき。今後、このような事例が二度と発生しないよう徹底することを求め、賛成する。(大坂)

住民監査請求された(仮称)「区立麹町仮住宅」の契約は予定価格1億5千万円以上の工事にもかかわらず議決を経ずに行われ、東京メトロとの施工協定も不透明であり、賛否の判断に迷いがあるが、次年度予算にも影響し、副区長から反省と今後の方針への決意表明があり、苦渋の選択で賛成する。(寺沢)

2. 国民健康保険に対する国庫負担の大幅引き上げ等を求める意見書 **否決**

【反対の意見】

当該意見書が求める国庫負担金の更なる増額は、現下の厳しい財政状況では実現が難しく、国民健康保険の保険料負担の軽減については、一連の国保改革による財政安定化措置をはじめとした、あらゆる手段を講じて対応を行っていくべきものと考え、反対する。(大坂)

【賛成の意見】

国民健康保険料が高すぎる要因は、国保会計への国庫負担金の減額と家族一人ごとに加算される「均等割」の制度である。区では独自に国保会計への繰り入れを実施しているが、自治体だけの施策には限界がある。国の公費負担を大幅に引き上げ「均等割」制度を見直すことを求め、賛成する。(牛尾)



今定例会で可決した意見書

東京2020パラリンピック競技大会に向けた意見書

千代田区議会では、オリンピック・パラリンピック対策特別委員会を設置し、パラリンピックの機運醸成を重要事項の一つとして取り組んできました。専用体育館パラアリーナの視察や区主催のparasports体験イベントに積極的にかかわっていく中で、いくつかの課題が明らかになってきました。

パラリンピック、parasportsは報道で取り上げられる機会が増えているものの依然として各競技の認知度、関心は低く、経済的支援、練習場所の確保、大会応援体制についてはオリンピックに対して、とても厳しいのが現状です。

我が国では、前回のリオオリンピック大会終了後、パラリンピック開催中にもかかわらずメダリストの祝勝パレードを行ったことで、海外から日本の意識の低さが指摘されました。

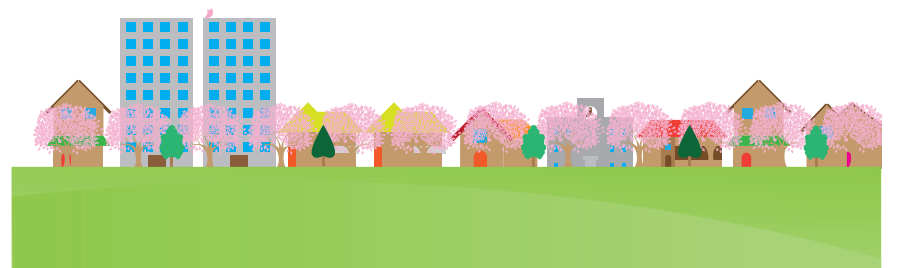
parasportsは障害がある人が行う特別なスポーツではなく、一競技として魅力的であることが体験するとよく分かります。また、パラアスリートの驚くべき身体能力の高さはもっと注目されるべきです。

東京2020パラリンピック大会には、昭和39年以来、初の複数開催都市としての責任があります。大会成功はもとより、継続的なparasportsの推進、普及を日本として世界に発信していく絶好の機会です。

よって、オリンピック終了後は、国民こぞって心からパラリンピックを楽しみ応援できるよう、下記事項の実現を強く求めます。

- 1 パラスポーツの体験、parasportsを取入れたイベントを各自治体、各学校で開催するための支援を行うこと
- 2 公共、民間を問わずスポーツ施設、体育館の機能更新時にはparasports対応可能な仕様にするための基準を定め、整備の検討をすること
- 3 パラスポーツへの経済的支援、パラアスリートの育成、強化を行うこと
- 4 国民こぞってパラリンピックを応援できる体制を整えとともに、東京2020パラリンピック大会会場で多くの子どもたちが観戦できる政策をとること

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。
(提出先) 文部科学大臣、東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会担当大臣、東京都知事





今定例会で可決した決議

「議案第2号 平成31年度千代田区一般会計予算」に対する附帯決議

区は、平成31年度千代田区一般会計予算の執行にあたり、下記のことを十分取り組むことを強く求める。

- 1 文化財保護行政において、文化財の保存と活用の双方が共に重要な柱であり、文化財の次世代への継承という目的を達成する上で不可欠である。区は、文化財に係る施策を推進するに当たっては、文化財の収集と保存の方針を定め、区内の「文化財総合調査」を計画的に実施し、現状の文化財台帳等の再整理を行うとともに、保存と活用の均衡がとれたものとなるよう、区議会に適宜適切に報告し実施すること。
- 2 文化財の保存及び活用が適切に行われるためには、文化財に係る専門的知見を有する学芸員等の配置が重要であることを踏まえ、区はより積極的な取組を行うこと。また、「教育と文化のまち千代田区宣言」を踏まえ、収蔵庫付設の博物館法に基づく施設整備のため財源を確保し整備していくこと。
- 3 文化財を後世に伝えるために区は、文化財の保護・保存のため十分な財源を確保するとともに、その支援を国に求めること。また、文化財の修理についても財源を確保するとともに、国へ必要な予算を安定的に確保するよう求め、計画的な修理の実施が行われるよう努めること。
- 4 区は、文化財の本質的な価値が毀損されないよう十分に留意し、文化財保護審議会の役割の明確化及び機能強化を図るとともに、その中立性を担保すること。

以上、決議する。

ちよだ区議会ツール



■ 千代田区議会では、平成31年4月から公式Twitterを始めました!!



4月1日から千代田区議会公式ツイッターを開設しました。区議会の情報やHPの更新情報等をツイートします。フォローをお願いします。

アカウント名:@Chiyoda_Kugikai

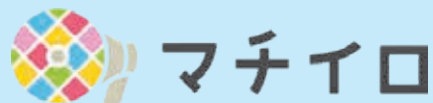
右の2次元コードを読み取るか、Twitterで「千代田区議会」と検索してください。

※メールマガジンは、7月上旬にサービスを終了します。



■ ちよだ区議会だよりをスマホで！

各自治体の広報紙やニュースが閲覧できる無料アプリ「マチイロ」で「ちよだ区議会だより」を配信しています。スマートフォンやタブレット等で、いつでも手軽にちよだ区議会だよりを読めます！ぜひ、下の2次元コードからダウンロードして下さい。



マチを好きになるアプリ



■ ご存知ですか？

千代田区議会HPの「インターネット中継」で本会議（平成26年から）の「録画中継」が視聴可能です。日程や、議員の名前ごとに選択可能となっています。下の2次元コードや区議会HPから、ご視聴下さい。



委員会で取り扱った請願・陳情（平成30年12月26日～平成31年3月25日）※詳細は、区議会ホームページでご覧になれます。

陳 情 名（受付順に掲載）	送付委員会 （ ）は参考送付	審査状況 （平成31年3月25日現在）
区営四番町アパートの建替えに関する陳情	都市基盤整備特別委員会	審査終了
東郷元帥公園改修工事について	企画総務委員会	審査終了
東郷元帥記念公園改修工事について	企画総務委員会	審査終了
認可外保育施設保育料の助成制度創設を求める陳情	子育て文教委員会	審査終了
千代田区の環境と歴史を守る神田警察通りの街路樹の保存を求める陳情	企画総務委員会	審査終了
神田警察通りの街路樹の保護育成を求める陳情	（企画総務委員会）	審査終了
人間性を養う都心の街路樹の保存を求める陳情	（企画総務委員会）	審査終了
箱根千代田荘の再開を求める陳情	福祉施設整備特別委員会	審査終了
辺野古新基地工事の即時中止と沖縄県民の民意を尊重した誠実な協議に関する請願書	企画総務委員会	継続審査

12月～2月の主な活動

月／日	日 程	月／日	日 程
12/14	オリンピック・パラリンピック対策特別委員会	1/30	都市基盤整備特別委員会
17	福祉施設整備特別委員会	2 / 4	区民集会運営協議会
20	企画総務委員会	5	企画総務委員会
25	議会運営委員会		地域保健福祉委員会
	地域保健福祉委員会	6	平成31年第1回千代田区議会定例会（告示日）
1/25	議会運営委員会（開会に至らず）		議会運営委員会
	子育て文教委員会	12	議会運営委員会
29	情報公開審査会		

平成31年第1回定例区議会 会期日程〈会期:2/13～3/13までの29日間〉

月／日	本会議・委員会関係等日程	月／日	本会議・委員会関係等日程
2 / 13	議会運営委員会 本会議（会期の決定・区長招集あいさつ等）	2 / 28	議会のあり方に関する調査特別委員会 オリンピック・パラリンピック対策特別委員会
14	議会運営委員会	3 / 1	福祉施設整備特別委員会 都市基盤整備特別委員会
20	議会運営委員会 本会議（代表質問・一般質問）	4	議会運営委員会 本会議（議案の付託）
21	議会運営委員会 本会議（一般質問・議案の付託等） 予算特別委員会	5	予算特別委員会（総括） 予算特別委員会（総括）
22	情報公開審査会 企画総務委員会 地域保健福祉委員会 子育て文教委員会 3 常任委員会連合審査会	6	議会運営委員会 本会議（議案の撤回）
25	予算特別委員会 議会運営委員会 本会議（議案の議決）	7	企画総務委員会 地域保健福祉委員会 子育て文教委員会
26	予算特別委員会（分科会）	11	情報公開審査会 議会運営委員会
27	予算特別委員会（分科会）	13	議会運営委員会 本会議（議案の議決）

会派の幹事団変更

2月8日付で、会派の幹事団の変更がありましたのでお知らせいたします

○「自由民主党議員団」

（旧） 幹事団	（新） 幹事団
幹事長 嶋崎 秀彦	幹事長 小林 たかや
副幹事長 桜井 ただし	副幹事長 桜井 ただし
副幹事長 内田 直之	副幹事長 永田 壮一
幹事 池田 とものり	幹事 大坂 隆洋
経理責任者 小林 やすお	経理責任者 小林 やすお

区議会だより編集委員会の構成

◎委員長 ○副委員長

◎小林 やすお （自民）	○河合 良郎 （千代田）
秋谷 こうき（至誠会）	岩佐 りょう子（紡憲）
米田 かずや （公明）	大坂 隆洋 （自民）
池田 とものり（自民）	牛尾 耕二郎 （共産）
小枝 すみ子 （声）	



[illegible]

◆千代田区議会議員 条例定数25名 現員数25名

※ 会派名 自由民主党議員団(自民)／自由民主党 新しい千代田(千代田)／日本共産党区議団(共産)／千代田を紡ぐ会・立憲(紡憲)／公明党議員団(公明)／ちよだの声(声)／立憲民主党 新生ちよだ(立憲)／千代田至誠会(至誠会)

アプリケーションにて「ちよだ区議会だより」の配信を行っています。詳しくは区議会ホームページをご確認ください。